

奥松島釣り紀行

—秋・晩秋編—



—10月17日（木）奥松島釣り紀行1日目—

はじめに縄文村歴史資料館様の研修室で行った『釣り講座』では、奥松島釣具店の阿部裕様を講師にお迎えし、陸釣りに向けて釣り方の基本や仕掛けの作り方を学びました。

昼食を食べた後は、いざ里浜の陸釣りへ！穏やかな秋の里浜の景色はまさに絶景で、参加者の皆様全員で“宮戸島の釣り”を楽しむことができました。ちなみにハゼを中心に40匹超の釣果がありました！

この日は、次回の再会を楽しみにしながらそれぞれの帰路につきました。

—11月14日（木）・15日（金）奥松島釣り紀行-秋・晩秋編2・3日目—

2日目は、宮戸島大浜に会場を移して、陸釣りを行いました。タモがなければ上げられないほどの35センチ超のアイナメをはじめ、スズキやクロダイ、メジナ、アナゴなどのたくさんの魚が釣れました。糸が切れてしまって逃げていった大きなカレイも！（おしかったです）

自然の家に戻ってきてからは、阿部裕様に講師を務めていただき、船釣りに向けての『釣り講座』を実施しました。学びあり、笑いありの楽しい時間を過ごすことができました。

また、この日の夜の交流会でも、参加者の皆様全員で和やかに楽しくお話ができました。

最終日の3日目は、いよいよ船釣りです。心配された天気も何とかもち、くもり空&穏やかな海という絶好の釣り日和になりました。釣りが始まると、各船からの釣果情報が飛び交い、タイ（全体で20匹近く）やアイナメ、キス、50センチ超のアナゴ、ベラなどたくさんの魚が釣れました。

3日間を通して参加者の皆様の交流も深まり、帰り際に「また会いましょうね！」という言葉が交わされていたことも、私たちにとってもとても嬉しいことでした。参加された皆様、ありがとうございました。

最後になりましたが、講師の阿部裕様、奥松島体験ネットワークの皆様、宮戸島の漁師の皆様、縄文村歴史資料館様をはじめ、地域の皆様や活動を支えてくださった皆様により感謝申し上げます。ありがとうございました。



—参加者の皆様のご感想等—

「自然に親しむことに意義を感じることができました。」「『釣り講座』はあまり他で企画しているところがなく、とても有意義な学びとなりました。」「はじめての船釣りでしたが、皆様と和気あいあいと楽しくできました。」「宮戸島の海の風景、皆様のあたたかさに癒されました。」「講座を通して釣りのおもしろさを知り、多くの友人ができました。」「皆さんと交流ができて楽しかったです。」「楽しく過ごさせていただきました。また各イベントに、家族と共に参加したいと思います。」「とっても楽しかったです。奥松島が大好きになりました。」などの声をいただき、自然の家職員や東北福祉大学松島カウンセラーズのスタッフに対してもたくさんのあたたかいお言葉をいただきました。スタッフ一同、感謝の気持ちと同時に、皆様にとって学びやよい出会いがあったことをとても嬉しく思っております。参加された皆様、本当にありがとうございました。

